

No.	事務事業名	健康きりしま21計画策定事業	所属部	保健福祉部				
			所属課	健康増進課				
政策体系	政策名	05 たすけあい支えあうまちづくり	課長名	宮本 順子				
	施策名	02 健康づくりの推進	所属G(係)	地域保健G				
	基本事業名	01 市民の健康意識の向上	電話番号	45-5111				
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	健康増進法
	一般	04	01	06	957020	健康づくり推進事業		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記)								事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H 18 年度 ~ H 20 年度)
市民の健康の増進、栄養の改善等を目的とし、健康寿命の延伸及び生活の質の向上を実現するために、健康増進法第8条第2項により努力事項である健康増進計画を市民と協働で作成する。健康きりしま21計画(H21~25年度)は、市民が健康づくりのために市がなすべきこと、地域がなすべきこと、市民がなすべきことを明らかにした上で、活動領域に対する定量的な指標及び目標を設定する。本計画策定後は、健康増進協議会において、引き続き推進をはかる予定。目標達成ができたかの評価は、最終年度(H25年)に行い、次の計画策定へと反映される。策定委員は市民である始良郡歯科医師会長ほか14名、作業部会委員は看護協会会員代表ほか13名で、健康課題、健康目標等を協議し、市民アンケート、パブリックコメントを経て、平成21年3月策定予定								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 19年度実績(19年度に行った主な活動) 統計上による霧島市の健康状態の把握 ライフステージの設定・課題・目標の策定 年代ごと(成人・10~18歳・未就学)のアンケート作成・配布 20年度計画(20年度に計画している主な活動) アンケートの集計・分析作業 計画書の作成	対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民 地域	意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 健康づくりのための取り組みが理解される	結果(どんな結果に結び付けるのか) 自身の健康について関心を持ち、健康づくりのための知識を身に付ける。
		名称 ア 人口 イ ウ	単位 人
		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 ア 人口 イ ウ	単位 人
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 ア 計画づくりに参加した市民の人数(延べ) イ ウ	単位 人
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 ア 栄養・運動・休養を心がけている市民の割合 イ ウ	単位 %

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円		3,053	3,897		
	事業費計(A)	千円	0	3,053	3,897			
活動指標	ア 人	127,615	127,773	128,128	128,383	128,640	128,868	
対象指標	ア 人	127,615	127,773	128,128	128,383	128,640	128,868	
成果指標	ア 人	734	4,735	356				
上位成果指標	ア %	18.2	20.0	22.0	24	26	28	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	
平成15年に健康増進法が制定され、市民が健康であるために、市民自らがライフステージに応じた健康づくりをしやすくするための健康増進計画を策定する必要が生じた。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
国が平成11年度に健康日本21、平成12年度健やか親子21を策定した。県も平成12年度に健康かごしま21を策定した。また、国・県は、新健康増進計画、医療費適正化計画を平成19年度策定した。今回計画策定も、県の増進計画、医療費適正化計画を参考にしながら計画策定を行う必要がある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	
議会より計画策定について、一般質問があり「今後策定予定の健康きりしま21はどのようなものか」との質問があった。また、県から計画策定の要請がある。	

事務事業名	健康きりしま21計画策定事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課																											
2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																																
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																														
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																														
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																														
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																														
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																														
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない 市民、地域、市が協働で策定する健康づくりに関する計画は他にはない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																														
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																														
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシング)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																														
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 他に健康増進に関する計画の策定は、考えられない。																														
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) (担当課長記入欄)																																
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																														
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		おおむね順調である。																														
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) (従来通りで特に改革改善をしない)		(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																												
<改革改善案> 市民、地域が健康づくりに取り組むための体制づくりや環境づくり 広報活動等による市民への啓発を強化		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト				削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下					
		コスト																														
		削減	維持	増加																												
成果	向上																															
	維持																															
低下	維持																															
	低下																															
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																																

No.	事務事業名	溝辺ふれあい温泉センター管理運営事業			所 属 部	溝辺総合支所	
					所 属 課	市民福祉課	
政策体系	政策名	0 5	たすけあい支えあまちづくり			課 長 名	森田 重三
	施策名	0 2	健康づくりの推進			所 属 G (係)	保健福祉 G
	基本事業名	0 1	市民の健康意識の向上			電 話 番 号	59-3111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	霧島市温泉センターの設置及び管理に関する条例・施行規則
	一般	0 3	0 1	0 5	46015	温泉センター管理費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 市民の健康増進と福祉の向上を図るため、温泉センターを設置する。 溝辺ふれあい温泉センターの管理運営は、指定管理者制度により霧島市社会福祉協議会に委託。 ・開館時間 午前7時から午後9時まで ・休館日 火曜日、年末年始(12/31,1/1)		事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H 12 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)
---	--	---

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標 手段(主な活動) 19年度実績(19年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様 入浴者数 64,987人 20年度計画(20年度に計画している主な活動) 前年度と同様 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 施設を利用することにより、健康増進・市民相互の交流を図れる。 結果(どんな結果に結び付けるのか) 自身の健康について感心を持ち、健康づくりのための知識を身に付ける。		活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 入浴者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table> 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 人口</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table> 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 健康増進につながったと感じる人数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ 市民交流が図られた人数</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table> 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 栄養・運動・休養を心がけている市民の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 入浴者数	人	イ		ウ		名称	単位	ア 人口	人	イ		ウ		名称	単位	ア 健康増進につながったと感じる人数	人	イ 市民交流が図られた人数	人	ウ		名称	単位	ア 栄養・運動・休養を心がけている市民の割合	%	イ		ウ	
名称	単位																																	
ア 入浴者数	人																																	
イ																																		
ウ																																		
名称	単位																																	
ア 人口	人																																	
イ																																		
ウ																																		
名称	単位																																	
ア 健康増進につながったと感じる人数	人																																	
イ 市民交流が図られた人数	人																																	
ウ																																		
名称	単位																																	
ア 栄養・運動・休養を心がけている市民の割合	%																																	
イ																																		
ウ																																		

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	27,979	27,244	24,746		
事業費計(A)		千円	27,979	27,244	24,746			
活動指標		人	56,621	64,987	65,500	65,600	65,700	65,800
対象指標		人	127,615	127,773	128,128	128,383	128,640	128,868
成果指標		人	56,621	64,987	65,500	65,600	65,700	65,800
		人	56,621	64,987	65,500	65,600	65,700	65,800
上位成果指標		%	18.20	13.80	22.00	24.00	26.00	28.00

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等 この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 平成12年4月1日、町民の健康増進を目的とし、W造平屋建、総面積1277.22㎡、総事業費238,967,500円、男女大浴場と家族湯3室で営業している。 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 公の施設に係る指定管理者の指定手続に関する条例の制定により、平成18年4月から指定管理者に管理を行わせることとなった。 この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし	
--	--

事務事業名	溝辺ふれあい温泉センター管理運営事業	所属部	溝辺総合支所	所属課	市民福祉課
-------	--------------------	-----	--------	-----	-------

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↘
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↘
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↘
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↘
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↘
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] ↘
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘
	人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↘

3 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映) (PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																					
<table border="0"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>平成19年度において、年間64,987人が利用(1日平均209人)しており、市民、特に高齢者の憩いの場、語らいの場として利用されている。 本事業の意図(施設を利用することにより、健康増進・市民相互の交流が図れる。)及び結果(健康増進と生きがいの促進、積極的な社会参加の促進。)を達成しているものと総括する。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <改革改善案>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						

No.	事務事業名	各種がん検診事業				所属部	保健福祉部	
						所属課	健康増進課	
政策体系	政策名	0	5	たすけあい支えあうまちづくり			課長名	宮本順子
	施策名	0	2	健康づくりの推進			所属G(係)	健康増進G
	基本事業名	0	2	健康管理の実践支援			電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠 がん対策基本法	
	一般	0	4	0	1	0		1

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
胃がん検診～胃検診車による胃部 線検査 肺がん検診～胸部X線検査と喀痰検査 大腸がん検診～便潜血反応検査 乳がん検診～マンモグラフィ検査 子宮がん検診～子宮頸部細胞検査 前立腺がん検診～採血検査 ～ は40歳以上の男女 40歳以上の女性 は20歳以上の女性 は40歳以上の男性の希望者を対象に個人通知、実施、結果を通知し、精密検査が必要な方には病院へ受診勧奨を行う。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 58 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																	
手段(主な活動) 19年度実績(19年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同じ。ただし、乳がん検診は隔年で実施しているため19年度は実施していない。 20年度計画(20年度に計画している主な活動) 乳がん検診が実施される。また、前立腺がん検診はがん検診ガイドラインのなかで推奨されていないので行わない。 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ～ は40歳以上の男女 は40歳以上の女性 は20歳以上の女性 は40歳以上の男性で、希望者を対象 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) がんの早期発見、早期治療ができる。 結果(どんな結果に結び付けるのか) 疾病の予防、早期発見、早期治療、健康増進のための健康管理ができるようになる。		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア がん検診の実施回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ 受診希望者数(延べ)</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ウ 検査項目</td> <td>項目</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 20～39歳までの女性</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ 40歳以上の市民</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 受診者数(延べ)</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ がん発見数(延べ)</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 健診を受診した市民の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>		名称	単位	ア がん検診の実施回数	回	イ 受診希望者数(延べ)	人	ウ 検査項目	項目	名称	単位	ア 20～39歳までの女性	人	イ 40歳以上の市民	人	ウ		名称	単位	ア 受診者数(延べ)	人	イ がん発見数(延べ)	件	ウ		名称	単位	ア 健診を受診した市民の割合	%	イ		ウ	
名称	単位																																		
ア がん検診の実施回数	回																																		
イ 受診希望者数(延べ)	人																																		
ウ 検査項目	項目																																		
名称	単位																																		
ア 20～39歳までの女性	人																																		
イ 40歳以上の市民	人																																		
ウ																																			
名称	単位																																		
ア 受診者数(延べ)	人																																		
イ がん発見数(延べ)	件																																		
ウ																																			
名称	単位																																		
ア 健診を受診した市民の割合	%																																		
イ																																			
ウ																																			

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	26,467	9,769	18,150		
		一般財源	千円	59,969	43,925	77,587		
	事業費計(A)	千円	86,436	53,064	95,737			
活動指標		ア 回	119	139	149	107	107	107
		イ 人	68,185	44,593	47,759			
		ウ 項目	6	5	5	5	5	5
対象指標		ア 人	15,954	15,972	15,649	15,600	15,600	15,600
		イ 人	67,517	68,163	68,873	68,000	68,000	68,000
		ウ						
成果指標		ア 人	32,687	18,842	27,984	28,900	28,900	28,900
		イ 件	24	20	20	20	20	20
		ウ						
上位成果指標		ア %	41.1	40.5	49.0	53.0	57.0	61.0
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 昭和58年老人保健法施行により順次開始。H19年度よりがん対策基本法に基づき実施。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成10年度から財源が、補助金から一般財源化された。H19年度よりがん対策基本法により実施している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 市民から早期発見でき、早期治療につなげられてよかったとの意見がある。 がん検診料金の無料化の要望があった。	

事務事業名	各種がん検診事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課																					
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																										
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↷	各種がん検診事業を行うことで、がんの早期発見、早期治療につながり、経済的負担の抑制ができ、市民が心身ともに健やかな生活を送ることができる。																						
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↷	厚生労働省のがん検診実施のための指針に基づき実施している。																						
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↷	厚生労働省のがん検診実施のための指針に基づき40歳以上(一部20歳以上の女性)を対象としている。																						
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↷	未受診者への意識の高揚を図り、受診率を高める必要がある。																						
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↷	検診の機会がなくなり、早期発見・早期治療に結びつかない。市民の健康が脅かされる。医療費が膨大になる。																						
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] ↷	職場健診の機会がない方や自営業の方の場合、病院での検査に行かない限り受診の機会がないため、身近な場所で健診を受けることができる機会を設けることは行政として必要である。																						
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↷	最小限の事業費で実施しているので削減は難しい。																						
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↷	最小限の人件費で実施しているので削減は難しい。																						
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↷	40歳以上(一部20歳以上の女性)の市民全てが対象であるので公平・公正である。																						
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	若い世代へのがん検診受診率アップとともに結果が要精密検査になった方への受診勧奨にも力を入れていきたい。																							
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
<改革改善案> 総合健診での若年者への普及啓発を図り、受診率の向上を目指す必要がある。 未受診者への意識の高揚を図り、受診率を高める必要がある。 今後医療保険者と連携して、受診機会のない者への受診勧奨を勧める必要がある。																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 今後医療保険者と連携して、受診機会のない者への受診勧奨を勧める必要がある。																										

No.	事務事業名	予防接種事業				所属部	保健福祉部	
						所属課	健康増進課	
		政策名	0	5	たすけあい支えあうまちづくり		課長名	宮本順子
		施策名	0	2	健康づくりの推進		所属G(係)	地域保健G
基本事業名	0	2	健康管理の実践支援		電話番号	45-5111		

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	予防接種法
	一般	0	4	0	1	0	2	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
下記の予防接種を行う。 BCG(結核)予防接種・・・3～6ヶ月未満児・・・市内の委託医療機関による個別接種 三種混合予防接種・・・3～90ヶ月未満児・・・同上 MR(麻疹風疹混合)予防接種(1期)・・・1～2歳児・・・同上 MR(麻疹風疹混合)予防接種(2期)・・・小学校就学1年前・・・同上 二種混合予防接種・・・11～13歳未満児・・・同上 インフルエンザ予防接種・・・65歳以上の方・・・同上 ポリオ予防接種・・・3～90ヶ月未満児・・・各総合支所による集団接種						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 43 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
19年度実績(19年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同様。		ア	接種者数
			人
20年度計画(20年度に計画している主な活動)		イ	委託医療機関数
前年度と同様。		ウ	
			箇所
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
予防接種法において定められている年齢にある者		名称	
		単位	
		ア	予防接種対象者数
		イ	
		ウ	
			人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
感染症の発生を予防できる		名称	
		単位	
		ア	予防接種率
		イ	
		ウ	
			%
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
疾病の予防、早期発見、早期治療、健康増進のための健康管理ができるようになる。		名称	
		単位	
		ア	健診を受診した市民の割合
		イ	
		ウ	
			%

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	78,954	87,043	99,839		
		事業費計(A)	千円	78,954	87,043	99,839		
活動指標	ア	人	27,340	31,545	34,000	34,020	34,050	34,100
	イ	箇所	38	36	39	39	39	39
	ウ							
	ア	人	50,151	52,196	55,000	55,020	55,050	55,100
対象指標	イ							
	ウ							
	ア	%	74	76	76	77	77	78
成果指標	イ							
	ウ							
	ア	%	41	45	49	53	57	61
上位成果指標	イ							
	ウ							
	ア	%						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和23年予防接種法施行。昭和39年ポリオが、昭和43年に三種混合が、昭和52・53年に風しんと麻疹が定期接種化された。平成13年より高齢者のインフルエンザ予防接種が二類定期予防接種となる。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
平成6年予防接種法改正により集団接種での実施から個別接種が原則とされるようになる。さらに予防接種が義務から努力義務に変わり保護者の判断によるところが大きくなる。H17.4～BCG直接接種、H18.4～麻疹風しん2回接種が導入された。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
市民からポリオの行政措置の無料化の要望がある。	

事務事業名	予防接種事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課																					
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																										
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	見直し余地がある【理由】 ↘ 結びついている【理由】 ↘																								
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	予防接種事業を行うことで、感染症の発生を予防でき、疾病の予防、早期発見、早期治療、健康増進のための健康管理ができるようになる。																								
	公共関与の妥当性	見直し余地がある【理由】 ↘ 妥当である【理由】 ↘																								
有効性 評価	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	予防接種法で義務付けられており、予防接種を行うことは市の重要な責務であり、疾病の予防・医療費の削減につながる。																								
	対象・意図の妥当性	見直し余地がある【理由】 ↘ 適切である【理由】 ↘																								
	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	予防接種法により対象、意図も明確にされており、適切である。																								
効果 率性 評価	成果の向上余地	向上余地がある【理由】 ↘ 向上余地がない【理由】 ↘																								
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	協力医療機関での接種しやすい体制づくりをすることにより、接種率の向上につながると考えられる。インフルエンザの公費負担額を上げると、自己負担額が減り接種率の向上につながると考えられる。																								
	廃止・休止の成果への影響	影響無【理由】 ↘ 影響有【その内容】 ↘																								
公平 性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	義務的業務で廃止・休止できない。疾病の集団発生など市民の健康な生活につながらない。医療費の削減には必要である。																								
	類似事業との統廃合・連携の可能性	他 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↳ 統廃合できる ↘ 連携できる ↘ 統廃合できない ↘ 連携できない ↘																								
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	類似事業なし。 他に手段がない【理由】 ↘																								
公平 性 評価	事業費の削減余地	削減余地がある【理由】 ↘ 削減余地がない【理由】 ↘																								
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	インフルエンザの公費負担額を下げることは、自己負担額を上げることになり、接種率が下がることが考えられるため、現状維持が望ましい。																								
公平 性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	削減余地がある【理由】 ↘ 削減余地がない【理由】 ↘																								
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	予防接種事故防止から集団接種の場合、職員数の削減はできない。																								
公平 性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	見直し余地がある【理由】 ↘ 公平・公正である【理由】 ↘																								
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	費用負担については、公平であるが、インフルエンザの自己負担額を上げると接種率が下がると考えられるため、現状維持が望ましい。各地域で予防接種が受けやすいように各医療機関に協力体制をお願いしており、受益者負担は公平・公正になっている。																								
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性	適切	見直し余地あり	この事業は適切に行われているが有効性について若干の見直し余地がある。																							
有効性	適切	見直し余地あり																								
効率性	適切	見直し余地あり																								
公平性	適切	見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> (従来通りで特 <input type="checkbox"/> 改革改善をしない) 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/>		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<改革改善案> <input type="checkbox"/>		予防接種検討委員会等で協力医療機関の接種体制について協議する必要がある。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 インフルエンザの公費負担を上げると接種率の向上につながると考えられるが財政の厳しい折、早急には、改善は見込めない。																										

政策体系	事務事業名	人間ドック助成事務事業			所 属 部	生活環境部	
	政策名	0 5	たすけあい支えあまちづくり			所 属 課	保険年金課
	施策名	0 2	健康づくりの推進			課 長 名	川崎 秀一郎
	基本事業名	0 2	健康管理の実践支援			所 属 G (係)	国民健康保険 G
					電 話 番 号	45-5111	

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	国民健康保険法82条
	特別	0 6	0 1	0 2	222010	一日人間ドック助成		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
霧島市国民健康保険被保険者に健康管理の習慣を身に付けてもらうため、30歳以上の国民健康保険税完納者(特定健康診査を受診した者は除く。)を対象として人間ドックの助成を行なう。 費用の内、一般コース:25,000円、女性コース:27,000円を助成。 契約している医療機関は厚生連病院、霧島市医療センター。平成20年度からは、新たに国分中央病院、協愛病院、霧島杉安病院を追加している。手続きとしては、厚生連病院の場合は、旧市町村毎の受付で各総合支所等の窓口へ保険証、印鑑を持参し、利用申込書を記入してもらう。その他の医療機関で受診する場合は、保険証、印鑑を持参して各医療機関の窓口で手続きとなる。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 17 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																							
手段(主な活動) 19年度実績(19年度に行った主な活動) 一般コース556名、女性コース251名の募集人員に対し、一般コース378名、女性コース161名の受診があり、合計539名に助成を行なった。 20年度計画(20年度に計画している主な活動) 新たに国分中央病院、協愛病院、霧島杉安病院と契約を交わし、それぞれ50名募集する。 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 30歳以上の霧島市国保被保険者で国保税完納者。 特定健康診査を受診した者は除く。 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 病気の早期発見、早期治療を図り、自分の健康状態を知ってもらう。 結果(どんな結果に結び付けるのか) 安心して必要な医療が受けられる。		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 人間ドック助成件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ 人間ドック助成額</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 受診希望者件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 人間ドック助成件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 国民健康保険の被保険者一人当たりの医療費</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>		名称	単位	ア 人間ドック助成件数	件	イ 人間ドック助成額	千円	ウ		対象指標(対象の大きさを表す指標)		名称	単位	ア 受診希望者件数	件	イ		ウ		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 人間ドック助成件数	件	イ		ウ		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 国民健康保険の被保険者一人当たりの医療費	円	イ		ウ	
名称	単位																																								
ア 人間ドック助成件数	件																																								
イ 人間ドック助成額	千円																																								
ウ																																									
対象指標(対象の大きさを表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 受診希望者件数	件																																								
イ																																									
ウ																																									
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 人間ドック助成件数	件																																								
イ																																									
ウ																																									
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 国民健康保険の被保険者一人当たりの医療費	円																																								
イ																																									
ウ																																									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度 (見込)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円	5,558				
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	13,434	22,849	26,559		
		事業費計(A)	千円	18,992	22,849	26,559		
活動指標		ア 件	565	539	960	910	910	910
		イ 千円	14,445	13,797	26,559	23,361	23,361	23,361
		ウ						
対象指標		ア 件	570	545	960	910	910	910
		イ						
		ウ						
成果指標		ア 件	565	539	960	910	910	910
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア 円	270,054	323,159	297,733	312,619	328,249	344,661
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 昭和33年に国民健康保険法が施行され、被保険者の健康増進を図るため。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 国民健康保険法が改正され、平成20年4月から各保険者で基本検診を被保険者全員に実施し、受診義務を課することができるようになる。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 受診希望者から受診できる医療機関に限られているため、近くの医療機関で受診したいという要望あり。	

事務事業名	人間ドック助成事務事業	所属部	生活環境部	所属課	保険年金課																
2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 疾病を早期発見・早期治療し、自分の健康状態を知ることは、被保険者が負担する医療費の抑制に結びつく。ひいてはすべての人が安心していきいきと暮らせる都市づくりにつながる。																			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 国民健康保険の医療の給付の対象となる保険事故(疾病、負傷等)の発生を未然に防止することは、保険者である市が健全な国保運営を行なうためには必要不可欠である。 また、国民健康保険法(国民健康保険条例)に基づき国民健康保険の一環として行なっている事業であり、市が支援することは妥当である。																			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 他の保険加入者は、それぞれが加入する保険で人間ドック受診の助成を受けることが可能である。生活習慣病の増加が国保の医療費を引き上げる要因となっていることから、人間ドック受診の助成対象年齢としては30歳以上とすることが望ましい。																			
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 今後も幅広く助成制度を活用してもらうために広報等での周知・助成枠の拡大などを検討し、特定健診等と併せて最低年1回の検診を習慣づけていただくようサポートする。																			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 特定健診等は40歳以上が対象であり、それ以外の方が受診できる健診がなくなる。																			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 特定健康診査事務事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 平成20年4月から始まる特定健診の対象年齢と重複する部分があり、また検査項目も類似している項目があることから、平成20年度の受診件数によっては廃止することも考えられる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘																			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費の全てが助成金額であり、受益者負担の見直しをしない限りは事業費の削減はできない。																			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 窓口での受付対応、利用券の配布、受診予約の受付を市が行っている。国民健康保険の資格があるか、受診者を国保税完納者に限定しているため滞納の有無を調査する必要があり、市で受け付けるのが妥当。																			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 被保険者に幅広く助成制度を活用してもらうために対象年齢の引き下げ、助成制度を幅広く知ってもらう為に広報等を利用する必要がある。																			
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]																					
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		霧島市国民健康保険被保険者に健康管理の習慣を身に付けてもらうため、30歳以上の国民健康保険税完納者を対象として人間ドックの助成を行なうことにより、受診者の負担の軽減が図られた。																			
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持低下			
		コスト																			
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持低下																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 広報・ホームページ等で広く周知することにより人間ドック受診の増加を図る。																					

No.		事務事業名	健康運動普及推進員会支援事業					所 属 部	保健福祉部
								所 属 課	健康増進課
政策体系	政策名	0 5	たすけあい支えあうまちづくり					課 長 名	宮本 順子
	施策名	0 2	健康づくりの推進					所 属 G (係)	地域保健 G
	基本事業名	0 3	健康づくり活動がしやすい社会環境づくり					電 話 番 号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	健康増進法	
	一般	0 4	0 1	0 6	957020	健康づくり推進事業費			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 市民に対して健康寿命の延伸や介護予防のために運動の推進をしている健康運動普及推進委員会に対して補助金を交付する。								事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 5 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 19年度実績(19年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様	⇒	20年度計画(20年度に計画している主な活動) 前年度と同様	名称 ア 補助金額 イ 活動日数 ウ 活動人数(延べ)
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・健康運動普及推進員 <補助金交付先>健康運動普及推進員会 <補助対象活動>健康運動普及推進員会の運営に要する経費		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 ア 会員数 イ ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 推進員の活動が活発になる。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 ア 普及した人数(延べ) イ ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 健康づくりに取り組みやすい環境が整う		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 ア 健康づくりの地域活動に参加している市民の割合 イ 健康ボランティアの人数 ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	0	559	775		
		事業費計(A)	千円	0	559	775		
活動指標		ア 円	640	559	775	910	910	910
		イ 日	79	111	115	120	120	120
		ウ 人	626	781	785	790	790	790
対象指標		ア 人	56	56	63	93	153	183
		イ						
		ウ						
成果指標		ア 人	874	2,386	2,400	2,450	2,450	2,450
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア %	4.1	4.4	4.7	5	5.3	6
		イ 人	281	253	260	270	280	290
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 S63から第2次国民健康づくり対策のなかで市民への運動普及が強化され、H5に健康運動普及推進員を養成し、活動の支援が必要となった。合併前は、隼人地区に健康運動普及推進員として29名あり、平成18年度に国分地区に20名、牧園地区に7名、健康運動普及推進員が誕生した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
 平成19年度に健康運動普及推進員の養成講座を行い現在、63名の健康運動普及推進員が活動し、霧島市の高齢者等に少しずつ運動の普及・推進ができています。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 市民から霧島市全域で健康運動普及推進員会の活動ができるように、いない地域の健康運動普及推進員の養成講座を開催してほしいという要望がある。

事務事業名	健康運動普及推進員会支援事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課																					
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																										
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？																						
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？																						
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？																						
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？																						
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？																						
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷	<input type="checkbox"/> 連携できない ↷																				
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)																						
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)																						
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？																						
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性に若干の見直し余地がある。																							
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)		<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
<改革改善案> 国分・隼人・牧園以外の地区に運動普及推進員がいないため、運動の普及活動に影響がある。そのため、平成19年度に養成講座を実施した。また、健康運動普及推進員は平成21年度より地域に健康・生きがいづくりの推進のために、自治公民館の方々と一緒に中心になって動いていただくことから、今後、3年間かけて60人ずつ養成し、最終的には、実働で180人の健康運動普及推進員を確保したいと考えている。																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																										

No.	事務事業名	食生活改善推進員連絡協議会運営支援事業				所属部	保健福祉部				
						所属課	健康増進課				
政策体系	政策名	0	5	たすけあい支えあうまちづくり			課長名	宮本 順子			
	施策名	0	2	健康づくりの推進			所属G(係)	地域保健G			
	基本事業名	0	3	健康づくり活動がしやすい社会環境づくり			電話番号	45-5111			
予算科目	会計	0	4	0	1	0	6	957020	健康づくり推進事業	法令根拠	健康増進法
	一般										
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 霧島市食生活改善推進員連絡協議会の活動を助けるために補助金を交付する。協議会は、行政が行っている保健事業や地域組織活動、ボランティア活動を通して住民の健康意識の向上を図る。								事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 48 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
19年度実績(19年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 補助金額	円
20年度計画(20年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 活動日数(延べ)	日
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	・食生活改善推進員 ・補助金交付先>食生活改善推進員連絡協議会 ・補助対象活動>食生活改善推進員連絡協議会の運営に要する経費	ウ 活動人数(延べ)	人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	推進員の活動が活発になる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	健康づくりに取り組みやすい環境が整う。	名称	単位
		ア 会員数	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 普及した人数(延べ)	人
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 社会福祉、健康づくりの地域活動に参加している市民の割合	%
		イ 健康ボランティアの人数	人
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	0	2,331	2,214		
		事業費計(A)	千円	0	2,331	2,214		
活動指標	ア 円	2,331	2,331	2,214	2,214	2,214	2,214	
	イ 日	812	800	800	900	900	900	
	ウ 人	2,511	2,500	2,500	2,600	2,600	2,600	
対象指標	ア 人	145	121	105	150	150	180	
	イ							
	ウ							
成果指標	ア 人	24,104	26,049	26,100	26,200	26,300	26,400	
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア %	4.1	4.4	4.7	5.0	5.3	5.6	
	イ 人	281	253	260	270	280	290	
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 昭和27年の栄養改善法、平成12年の健康日本21制定、平成14年の健康増進法の公布、平成17年の食育基本法のもと、昭和48年より国分市食生活改善推進員連絡協議会をはじめ各地区が協議会を発足した。平成18年4月1日に合併前1市6町の食生活改善推進員連絡協議会が合併し、霧島市食生活改善推進員連絡協議会として活動している。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
 食生活改善推進員の養成講座を近年開催していないため、会員の減少と高齢化が進んでいる。そのため、活動が制限されたり、一部の会員に負担がかかっている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 会員から地域活動(郷土の味の活用、8020運動、食育活動)を活発にするため、会員の育成をしたいので養成講座を開催してほしいとの意見がある。

事務事業名	食生活改善推進員連絡協議会運営支援事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課
-------	---------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	食生活改善推進員連絡協議会運営支援事業を行うことで、推進員の活動が活発になり、健康づくりに取り組みやすい環境が整う(個人を支援する環境が整う)ことに結びつく。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】
有効性 評価	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	健康増進法第3条に基づき実施しており、食生活推進員連絡協議会運営支援事業を行うことは市の重要な責務である。また、食生活改善推進員が積極的な地域活動として健康づくりを市民と一緒にすることは、住民の健康づくりの環境整備や支援につながる。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】
	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	対象は食生活改善推進員であり適切である。
効率性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	健康づくりの一貫を担う食生活改善推進員の会員数が年々減少し、普及活動に影響が出ているため、若い世代の推進員の増員を図ることで成果の向上が期待できる。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	食生活改善推進員の活動ができなくなり、健康づくりに取り組みやすい環境づくりに影響が出る。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	他事務事業及び類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】
公平性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	補助金を削減することにより、推進員の会費の増額につながり、推進員の減少や事業の縮小が予想される。
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	人件費の内容は、補助金等の支出等にかかる必要最小限の事務経費であり、削減の余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】
事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	この補助金は、食生活改善推進員連絡協議会に対して交付されているが、活動は広く市民を対象としており、受益者負担を求める必要はなく、公平・公正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	会員数が減少し活動に影響がでている。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 今後は健康生きがいづくり推進モデル事業の取り組みも開始されることから、養成講座を行い活性化を図りたい。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 若い世代の増員を図りたいが、子育てや共働きなどで、希望者がいない。

No.	事務事業名 食育推進事業					所 属 部	保健福祉部											
政策体系	政策名	0	5	たすけあい支えあいまちづくり			所 属 課	健康増進課										
	施策名	0	2	健康づくりの推進			課 長 名	宮本 順子										
	基本事業名	0	4	食育の推進			所属G(係)	健康増進G										
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	食育基本法										
	一般	0	4	0	1	0	6	957090	食育健康推進費									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間											
市民の食生活に関する相談に管理栄養士が応じ、必要な栄養指導を行う。農政畜産課、学校教育課、NPO法人等と連携し、食育の推進を行う。 1. 市民からの電話や来庁による栄養相談。 2. 保育所の食育を支援する保育所食育支援事業。 3. 学校保健委員会などへ講話。 4. 広報紙やホームページを使用した啓発活動。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 18 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)											
1 現状把握の部(DO)																		
(1) 事務事業の目的と指標																		
手段(主な活動)					活動指標(事務事業の活動量を表す指標)													
19年度実績(19年度に行った主な活動)					<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 食育の講話等の実施回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ 食育の講話等の参加人数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						名称	単位	ア 食育の講話等の実施回数	回	イ 食育の講話等の参加人数	人	ウ	
名称	単位																	
ア 食育の講話等の実施回数	回																	
イ 食育の講話等の参加人数	人																	
ウ																		
事務事業の概要と同様。																		
20年度計画(20年度に計画している主な活動)					<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						名称	単位	ア 人口	人	イ		ウ	
名称	単位																	
ア 人口	人																	
イ																		
ウ																		
前年度の内容に加え、歯科衛生士を雇用し、歯科指導も併せて行う。																		
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等					対象指標(対象の大きさを表す指標)													
市民					<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						名称	単位	ア 人口	人	イ		ウ	
名称	単位																	
ア 人口	人																	
イ																		
ウ																		
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)					成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)													
食育に関する意識が向上する。					<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 食育の講演等の参加人数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ 霧島版バランスガイドの活用している人の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						名称	単位	ア 食育の講演等の参加人数	人	イ 霧島版バランスガイドの活用している人の割合	%	ウ	
名称	単位																	
ア 食育の講演等の参加人数	人																	
イ 霧島版バランスガイドの活用している人の割合	%																	
ウ																		
結果(どんな結果に結び付けるのか)					上位成果指標(結果の達成度を表す指標)													
正しい食生活の意識を持ち実践することができる。					<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 朝食を取っている市民の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ 地域や職場で健康や栄養に関する学習の場に参加した市民の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						名称	単位	ア 朝食を取っている市民の割合	%	イ 地域や職場で健康や栄養に関する学習の場に参加した市民の割合	%	ウ	
名称	単位																	
ア 朝食を取っている市民の割合	%																	
イ 地域や職場で健康や栄養に関する学習の場に参加した市民の割合	%																	
ウ																		
(2) 総事業費・指標等の推移																		
投入量	事業内訳	財源	単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)									
		国庫支出金	千円															
		都道府県支出金	千円			747												
		地方債	千円															
		その他	千円															
		一般財源	千円	34	335	292												
		事業費計(A)	千円	34	335	1,167												
活動指標		ア	回	8	7	11	11	11	11									
		イ	人	325	295	620	650	680	700									
		ウ																
対象指標		ア	人	127,615	127,773	128,128	128,383	128,640	128,868									
		イ																
		ウ																
成果指標		ア	人	325	295	620	650	680	700									
		イ	%		17.6	39.9	45	50	55									
		ウ																
上位成果指標		ア	%	79.4	80	81	82	83	84									
		イ	%	30.7	31	32	32	33	33									
		ウ																
(3) 事務事業の環境変化・住民意見等																		
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？																		
平成15年に健康増進法、平成17年に食育基本法により食育の推進が市町村の努力義務とされた。																		
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？																		
平成17年度に食育基本法ができ、霧島市としても、平成18年11月に食農育宣言を行い平成19年度に食育推進計画が作成され、市民も非常に食育について関心ができてきている。																		
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？																		
生活習慣病の増加や、食育へのニーズも高まり、市民からの栄養改善に関する相談や講師依頼が増えている。また、環境に配慮した食育の推進も必要との意見があった。																		

事務事業名	食育推進事業		所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課																				
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																										
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	見直し余地がある【理由】 ↷	結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？																						
	公共関与の妥当性	見直し余地がある【理由】 ↷	妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？																						
	対象・意図の妥当性	見直し余地がある【理由】 ↷	適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？																						
有効性 評価	成果の向上余地	向上余地がある【理由】 ↷	向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？																						
	廃止・休止の成果への影響	影響無【理由】 ↷	影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？																						
	類似事業との統廃合・連携の可能性	他 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷	統廃合できる ↷	連携できる ↷	統廃合できない ↷	連携できない ↷																				
効率性 評価	事業費の削減余地	削減余地がある【理由】 ↷	削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)																						
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	削減余地がある【理由】 ↷	削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)																						
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	見直し余地がある【理由】 ↷	公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？																						
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性	適切	見直し余地あり	成果の向上を目指して普及啓発活動が必要である。																							
有効性	適切	見直し余地あり																								
効率性	適切	見直し余地あり																								
公平性	適切	見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		現状維持 <input type="checkbox"/>			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
廃止 <input type="checkbox"/>	休止 <input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(有効性改善)		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持			増加																				
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
目的再設定 <input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(効率性改善)	(従来通りで特に改革改善をしない)																								
事業統廃合・ <input type="checkbox"/> 廃	事業のやり方改善(公平性改善)																									
<改革改善案>		食育の意識向上を図るために講演会の開催や各種事業において食育に関する指導を取り入れていく必要がある。栄養士、保健師(在宅も含む)等に食育に関する研修を行い質の向上に努めるとともに関連課や食生活改善推進員等のボランティア団体との連携を深め一緒に取り組んでいく必要がある。																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし																										